



京都運輸支局(舞鶴庁舎) 運航部門 【事務官】令和4年4月入局

略歴

令和4年4月	兵庫陸運部 監査部門
令和5年4月	大阪運輸支局 輸送部門
令和6年4月	京都運輸支局(舞鶴庁舎) 運航部門

近畿運輸局に入局したきっかけ・理由は何ですか？

正直、特段「これがきっかけ！」といったエピソードがあるわけではなく、小さい頃から鉄道や船が好きでしたので、なんとなく乗り物に携わることができる仕事ができればいいなあ…と漠然と思っていました。

それから、就職活動の時期になって様々な官庁や企業から話を聞いていくうちに、当局の業務内容や職場の雰囲気が自分に何となく合っているなと思い、入局に至りました。

現在はどんな業務に携わっていますか。

主に旅客船事業や港湾運送事業関係の申請の受付・審査業務や、庶務関係全般を担当しております。当支局で管轄する事業者数は比較的少ないものの、関連する法令が多いので日々辞書で確認したり、上司に伺ったりしながら何とか業務をこなしています。

また、職員の数が少ない庁舎ですので、他部門の職員とお互いに業務を手伝いながら日々業務を行っております。例を挙げますと雇入・雇止の手続きや海技免状・小型船舶操縦免許の発行などを行う船員関係業務や、実際に船舶に出向いて法令に則って業務を行っているかを確認する運航労務監査業務などがあります。



これまで携わった中で印象に残っている仕事を教えてください。

入局2年目に配属された大阪運輸支局での輸送関係業務です。輸送関係業務とは所謂「事業用ナンバー」のバス、タクシー、トラックやレンタカー関係の申請の受付・審査、問い合わせの対応を行います。その中でも私はタクシー関係の担当でしたが、量が多く複雑な法令に加え、日々殺到する申請や問い合わせにかなり苦労しました。しかし、その一方大きな案件を上司や同僚と協力して解決できた時の達成感は代えがたいものでした。

近畿運輸局の魅力って何だと思いますか？

業務の幅広さと職場内の風通しのよさだと思います。

職業柄どうしても異動がつきものですが、その分様々な職種・業種の仕事を体験することができ、新たに自分が実は向いていた業務や、興味を持つことができた業界を発見することができます。また、業務が幅広い分、一人で全て仕事をこなせるわけではないことは理解していますので、年齢差を問わず相談をしやすい雰囲気があります。

さらに、近畿運輸局では他局と合同で行う研修も充実しており、そこで同世代や同業務の職員と仲良くなったり、業務内容に関して意見を交換したりすることもできます。



最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

皆さんは現在、入局を希望している官庁はありますか？就職活動を行っていて様々な官庁の説明会に参加する機会があると思いますが、もしそこで興味を持った官庁があれば実際にそこで働く

職員に話を聞いてみたり、実際に庁舎に足を運んでみたりして、実際の現場の情報をご自身で入手してみてください。

無論、それで入局後のギャップを完全になくすことは難しいですが、自分が将来納得できる選択につながることを信じています。

